



令和3年度 7月 ほけんだより

園長 江郷勝哉
看護師 高瀬浩子

蒸し暑い日が多くなり、水遊びやプールが気持ちよい季節になりました。これから水遊びやプールを満喫する子どもたちですが、毎年この時期は、夏に流行する感染症に気をつける必要があります。また、暑さで疲れもたまりやすく抵抗力も落ちていく季節ですので、栄養と休息を十分とり、夏を乗り切っていけるように頑張りましょう！

<6月の感染症(5月20日~6月20日)>

7月の身体測定予定

5日(月) 幼児クラス

6日(火) 乳児クラス

・突発性発疹 乳児 2名 (乳児クラスでは、発熱・咳・鼻水症状でお休みするお子様が大変多かったです。幼児クラスのお子様にも感染の広がりがみられました。)

☀️<<熱中症にご注意下さい!>>☀️

気温・湿度が高くなり、熱中症の予防が重要です。保育園でも十分注意しながら保育を行っていますが、お家で朝食をしっかりと取ることも予防になります。朝食を食べないと、体内の水分・塩分量が低下してしまうため、熱中症を発症しやすくなります。また、睡眠不足の時も具合が悪くなりやすいです。この時期は特に、「朝食・睡眠」をしっかりと取るようにして下さい!! (朝食メニューは、塩分のあるものを取り入れましょう)。

<歯科検診の結果:今年は昨年(12月)より虫歯が減少しました😊🎵>

6月に実施された歯科検診の結果は下記の通りです。虫歯のあるお子様の人数が、昨年の12月より減少しました!保護者の方々が歯科医院に通院して下さった結果だと思います。特に、きりんさん(5歳児)で虫歯の治療が完了したお子様が多くなり、良かったと思います。有難うございます。

今回、歯科検診の当日にお休みをして、検診を受けていないお子様については、歯科検診を各個人で受けて頂くようお願いしております。保健所に歯科検診の結果を報告する必要がありますので、出来るだけ早めに書類を保育園に提出して頂けますよう宜しくお願い申し上げます。

<~「虫歯・虫歯になりそうな歯」のあるお子様の人数~>

- 0歳児: 0名
- 1歳児: 0名
- 2歳児: 0名
- 3歳児: 2名 クラスの 7.4% (虫歯・虫歯になりそうな歯の合計・・・2名で7本)
- 4歳児: 3名 クラスの 13.0% (虫歯・虫歯になりそうな歯の合計・・・3名で12本)
- 5歳児: 2名 クラスの 8.0% (虫歯・虫歯になりそうな歯の合計・・・2名で7本)

<気をつけよう!夏にはやる病気>



流行性角結膜炎(はやり目)

- 原因** 目とまぶたの裏側を覆っている結膜にアデノウイルスが感染して起きる炎症。ウイルス性の結膜炎の中でもっとも感染力が強く、タオルの共有や手指の接触によって感染する。最近では季節に関係なく発症する傾向がある。
- 症状** まぶたのはれや異物感、痛み、充血。目やにで目が開けられなくなったり、発熱や下痢を伴うこともある。
- 対応** 完治まで2~3週間かかり、結膜炎の症状が消失してからの登園になります。医師の「意見書が必要」です。

咽頭結膜熱(プール熱)

- 原因** アデノウイルスによる飛沫感染。「目やに」や便からうつることも。プールの水を介して感染することがあるので、「プール熱」と呼ばれる。
- 症状** 39℃以上の発熱とのどの痛みがあり、目のかゆみ、痛み、充血、涙など、結膜炎のような症状が出るのが特徴。
- 対応** 症状がなくなってから2日経過したら登園可能。「意見書」が必要。自宅で安静に過ごしましょう。



とびひ

- 原因** 虫刺されや湿しんをかきむしったあとに黄色ブドウ球菌が感染して起こる。症状がどんどん広がっていくことからこの名称で呼ばれる。皮膚が弱いとかかりやすい。
- 症状** 皮膚に水ぶくれができ、破けて赤くむけたような状態になる。発熱することもある。
- 対応** 主な治療法は抗生物質の使用だが、衣服を清潔に保つこともたいせつ。患部をガーゼなどで覆って登園するように。また、患部がじくじくしているときは症状が悪化しやすいので、プールには入れない。

ヘルパンギーナ

- 原因** コクサッキーウイルスA群などに飛沫感染することで発症。
- 症状** 高熱、のどの痛みが特徴。のどに水ほうや潰瘍(かいよう)ができて痛みがひどく、乳児の場合はミルクが飲めなくなるほどに。
- 対応** 熱やのどの痛みがあるうちは、安静に過ごすように。保護者の書いた「登園届」が必要



手足口病

- 原因** コクサッキーウイルスやエンテロウイルスによる飛沫感染。
- 症状** 手のひらや足の裏、口の中に小さな水ほうや赤い発しんができ、熱が出ることも。
- 対応** まれに髄膜炎などの合併症を起こすことがあるので、頭痛やおう吐を伴う発熱が3日以上続くときは、すぐに受診を。「登園届」が必要



水いぼ

- 原因** ボックスウイルス群が原因。タオルやビート板の共有、体の接触などで感染する。
- 症状** 粟粒大のいぼが胸や腹、わきの下などにできて広がる。
- 対応** 完治まで半年から1年半程度かかる。自覚症状がなければ治療は不要。肌のバリア機能が低下しているときや、かゆくてかきこわしてしまうようなら、医師と相談のうえ、いぼを取ったり、薬による治療を行うことも。

